

研究部会報告



●交通問題●

●第7回

日時：10月17日(水) 18:00~20:00

場所：東洋経済新報社ビル(日本橋) 参加者：13名

テーマ：磁石式連続輸送システム(CTM)

講師：岩崎正見氏(古河電気工業株式会社)

磁石式連続輸送システムは安全・低公害システムであり、回転半径が小さく登坂力が大きいのでビル街や道路ぞい、丘陵地帯など、どこにでも敷設できる。また、従来の交通システムと比較し半分以下の建設費で実現できる等メリットはかなり多いが、その漸新さゆえ現行の法律になじまない点も多々あることが指摘された。

●待ち行列●

●第5回

日時：10月20日(土) 14:00~17:10

場所：東京工業大学(情報科学科会議室) 出席者：25名

テーマと講師：

●Q5-1 $M/GI/s/k$ の待ち人数分布の近似式(宮沢政清・東京理科大) — 正確に成り立つ平衡方程式にいくつかの仮定を追加して近似式を得る方法の研究報告 —

●Q5-2 ロチェスター大学の印象(町原文明・武蔵野通研) — 経営大学院での1年間の滞在印象(談) —

●Q5-3 設備共用方式のトラヒック設計法の検討(住田修一・武蔵野通研) — INSでは各種サービスが提供されるが、トラヒック的には交換機や回線等の設備共用が特徴であり、そのトラヒック設計法の考察 —

●意思決定のための会計情報●

●第13回

日時：10月27日(土) 13:30~16:00

場所：慶応義塾大学ビジネススクール 出席者：14名

内容：(1) 在庫金利に関する定量的研究

(金沢工業大学：今沢明男)

(2) MDSの基本構想

(慶応義塾大学：大島諭)

●DP(研究グループ)●

日時：10月23日(火) 18:00~20:00 場所：日科技連
出席者：3名

講師、内容：小田中敏男, Stochastic Control Processes and Management Science

状態変数が各期にわたり、ある境界を越える確率を最小にするという基準は重要である。この基準による確率制御過程の理論と応用を論じた。まず、数学的定式化、解の存在と一意性と最適政策の性質について考えた。次にこの理論の応用として在庫管理、品質管理、自動制御の応用についてのべ、最後に適応過程、ファジイ過程の発展にふれた。

●政策科学●

●第7回

日時：9月22日 14:00~17:00 場所：三菱総合研究所

出席者：10名 テーマと講師：

①「意思決定のための情報整理学」細貝康夫(三菱総合研究所) 個人レベルの情報収集および組織レベルでの情報収集に関する原則についてのべ、次に、企業内部での情報の収集・利用上の問題点に触れた後、商業的なオンライン情報検索サービスの実情を解説した。

②「日本政治学会の年報から」末内 潔(中部大学) 山川雄巳氏の「政策研究の課題と方法」および薬師寺泰蔵氏の「政策分析におけるモデリングの諸問題」を紹介した。政治学は、政策過程そのものであり、数ある社会科学のうちでは、価値問題の取扱いに最もたけている。しかし、その反面、規範的方法には弱いという側面をもっている。今後の方向として、それぞれの学問分野の特色を出して、さらに幅広い方面からのアプローチを確認した。

会員計報

三村 博亮氏 (株)ダイヤリサーチ 49才

6月9日、急性心不全で急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。